

環境エンジニアリング企業としての意識改革へ向け 省エネと環境を考える「Green Air Festival in Summer」を実施 ～オフィスカジュアル励行と熱中症対策として空調服を支給～



高砂熱学工業株式会社
本社・東京都新宿区新宿6-27-30
会長兼社長・大内 厚、資本金131億3491万円

高砂熱学工業株式会社は、環境エンジニアリング企業として、環境と省エネを真摯に考え取り組むと同時に、働き方をみんなで見直す試みとして「Green Air Festival in Summer」と称した省エネ月間を実施します。また、熱中症対策のため現場社員には空調服を1,500着支給しました。

1. 実施期間

7月23日(火)から9月6日(金)

2. <「Green Air Festival in Summer」の実施概要>

(1) 執務エリアのエネルギー見える化とオフィスカジュアルの励行

本社ビル執務室エリアの室温を28℃に設定します。また、無線温度センサー(図1)を利用して温度分布の見える化(図2)を行い、当社技術である「GODA®クラウド」(※1)でデータ分析をし、最少エネルギーを目指しつつ快適空間を実現する、相反する目的に挑戦します。これに伴い、本社ビルの役職員はオフィスカジュアル(Tシャツ、ジーンズ可)を励行します。

(※1)GODA®クラウドとは、ビル施設のエネルギー使用量や空調設備などの運転データを分析し、より効率的な省エネ運用への改善を図るためのソフトウェアです。当社とパナソニック株式会社が共同で開発を行い、2017年グッドデザイン賞を受賞しました。



図1 無線温度センサー設置状況



図2 温度分布の見える化

(2) サマータイムの実施

既に制度化されている時差出勤制度を活用したサマータイム(8:00～16:45)勤務を推進します。

(3) 本社ビル来館者へ「涼」を提供

本社ビル受付スペースおよびオープンエリアは、「涼」をテーマとした映像や音声を用意し(図3)、健康スム

ーギー(図4)を提供するなど、来館者に”涼”を感じていただける空間づくりを行います。



図3 「涼」をテーマにしたエントランス



図4 健康スムージー



本イベントイメージキャラクター

本期間中は「省エネと快適空間の創出」「生産性向上と働き方改革」「環境保全と当社ビジネスの在り方」等への意見やアイデアを本社ビル勤務者(本社・東京本店・エンジニアリング事業部・国際事業部)から募集し、優秀なアイデアは表彰します。

3. 施工現場への空調服支給

今夏より、施工現場の熱中症対策として、全店の施工外勤職を対象に空調服計1,500着を支給しました。

当社の熱中症予防対策としては、各現場で暑さ指数であるWBGT値(※2)の把握、作業場所にスポットクーラーや扇風機配置によるWBGT値の低減、作業員に対する体調管理の指導および健康状態確認の徹底、水分・塩分補給の促進などを重点項目として実施してまいりました。本空調服は、服に付いた小型ファンで服の中に外気を取り入れ、体の表面に大量の風を流すことで汗を気化させて涼感を得る仕組みです。ファンから取り込んだ風が背中中に流され、首から出やすくなる風気路メッシュ構造で、首筋の涼感にも特長があります。

(※2)WBGT値とは、人体と外気との熱のやりとりに着目した、熱中症予防を目的に1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(°C)ですが、気温とは異なります。



図5 空調服を着用して作業する様子

<空調服を着用した現場作業員のコメント>

- ・汗の乾きが早いいためべたつきにくく、夏場の作業でも快適である。
- ・作業性がよく、着ながらの作業でも邪魔に感じる事が少ない。
- ・首筋や背中など汗をかきやすい部位に風が回るため、涼しい。
- ・ハーネス型安全帯でも使用できて便利。

4. 今後の取り組み

この取り組みを通じて、環境と省エネを社員一人ひとりが考え実行することで、当社はより一層、各店・各現場における省エネと快適性・生産性の両立、そして重点目標である働き方改革を実現してまいります。

以上

お問い合わせ先

経営戦略本部経営企画部広報室 鷲尾、平木まで TEL 03(6369)8215(直通)
鷲尾 携帯: 090-4437-3858 E-mail: masaki_washio@tte-net.com
平木 携帯: 070-2176-7713 E-mail: Terumasa_Hiraki@tte-net.com